

## 編集後記

大学院生の事例研究にコメントを下された先生方、本紀要で報告いたしました心理相談室の諸活動にご協力、ご参加いただいた方々、大変お世話になり、ありがとうございました。おかげさまで本紀要13号も無事発刊の運びとなりました。この1年には、東日本大震災とそれに伴う原子力発電所の深刻な事故が発生し、心理臨床援助の意義と臨床心理専門家の社会的責任について、様々考えさせられる日々でした。本相談室でも微力ながら、被災者への無料相談、震災支援をテーマにしたシンポジウムの開催等、本紀要に報告させていただいたような取り組みを行ってまいりました。臨床心理士を目指す大学院生、研修生にとっても学ぶところが多かったと思います。

その一方で、本紀要の大部分は日々取り組んでいる心理臨床事例の報告と検討が占めています。掲載させていただいた事例のクライアントの方々もまた、安全や自由、成長の場と機会が脅かされ、大きな精神的負担を負いながら暮らすことを余儀なくされているという意味では、被災者の方々と通じる面があるのかもしれませんが。そうであるからこそ、我々は日々の臨床経験で培った知見を基に、被災者・被災地への心理的支援を創発することもできるのだらうと思います。その意味で、一人一人のクライアント、個々の事例に真摯に向き合い、その臨床過程を丹念に振り返り、検討と考察を深めようとする事例研究は、臨床心理専門家の出発点であると同時に基盤であり続けるでしょう。こうした紀要を着実に毎年編纂していくことの大切さを肝に銘じて、今後も励みたいと考えています。

(石谷真一)

## 編集委員

國吉 知子・石谷 真一・小林 哲郎・水田 一郎・奥田紗史美・須藤 春佳  
児玉 佳子・桑山久仁子・大橋 頌子・浜本 瑞・乗岡 悠香・中山貴久子

## 心理相談研究 第13号

2012年3月31日 発行

発行 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室

〒662-8505 西宮市岡田山4-1

TEL/FAX 0798-51-8554

印刷 尼崎印刷株式会社

〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20

TEL 06-6494-1122

FAX 06-6495-2360